

「吹田市市民公益活動審議会」第82回会議 議事要録

開催日 令和5年（2023年）5月20日（土）午前10時30分～午後5時30分

場 所 市民公益活動センター ラコルタ 会議室

出席者

（1）委員（敬称略。50音順）

草郷 孝好、太刀掛 俊之、橋本 徹也、茂上 さつき、山下 節代、

山本 保治、渡辺 裕美子

（2）事務局

高田市民部長、市民自治推進室 長井室長、田家参事、加樂主幹、鶴岡主査、森本係員

市民公益活動センター（ラコルタ） 春貴センター長

会議の公開・非公開について

プレゼンテーション部分は公開

プレゼンテーション部分以外は非公開

補助金交付審査を行うため、下記に該当

「吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針」における

9 会議の公開

（2）次のいずれかに該当するときは、会議を公開しないことができる。

ウ 会議を公開することにより会議の目的を失わせ、公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められるとき。

議題

- 1 諮問書交付
- 2 令和5年度市民公益活動促進補助金交付審査
- 3 その他

配付資料

- （1）交付審査スケジュール
- （2）吹田市市民公益活動促進補助金交付申請書（写し）
- （3）市民公益活動促進補助金 事前質問への回答
- （4）市民公益活動促進補助金 複数回数申請団体および申請事業一覧
- （5）採点表
- （6）推薦順補助額一覧
- （7）審査点数表

会長：ただ今から第82回吹田市市民公益活動審議会を開催します。

まず、本日の会議傍聴について事務局よりお願いします。

事務局：プレゼンテーションを除く部分につきましては、吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針第9項第2号ウの規定により、公正かつ円滑な運営のため、傍聴は認めないものとします。

会長：事務局の説明のとおり取り扱うこととします。議題に入る前に事務局から本日の説明を受けます。

事務局：本日の審議会は、市民公益活動促進補助金プレゼンテーション並びに交付審査となります。

本日、御出席をいただいております委員は5名で、半数以上のご出席をいただいております。審議会として成立していることを報告させていただきます。なお、2名の委員が午後から御出席の予定です。

会長：それでは議題に入ります。

令和5年度吹田市市民活動促進補助金の交付審査について、市長より諮問がございます。事務局から説明をお願いします。

事務局：諮問書について説明

会長：この件について何かご質問はありますか。

（質問なし）

会長：それでは、審査の方法について、事務局より説明していただきます。

事務局：審査方法について説明

審議会委員が応募団体の役員等になっている場合、審査の公平性を期すため、全審査から外れるものと規定しておりますが、該当される方はお申し出ください。

委員：（申し出なし）

会長：何かご質問はございますか。

副会長：コメントは主担当が副担当の意見を踏まえて最終判断、作成するのですか。

事務局：事務局がまとめて委員に確認してもらい、最終案を会長に確認していただきます。

副会長：それなら、本日、審議の中で決めてしまえばいいと思います。

事務局：次回までに検討するとして今回は案のとおりでお願いします。

副会長：納得いきません。主担と副担の意味がないと思います。

事務局：主担と副担の区別は撤廃します。

副会長：了承しました。

会長：それでは、10時50分からプレゼンテーションを始めます。

暫時、休憩します。

会長：審議会を再開します。ただ今から、令和5年度吹田市市民公益活動促進補助金申請団体プレゼンテーションを始めます。進行は、事務局にお願いします。

事務局：司会進行

1 高野台キャンドルナイト実行委員会

～団体からの説明～

～質疑～

副会長：3点ありまして、単発のイベントから地域の繋がりがどう拡大するとお考えか、ということと、事業の持続性があるかどうか。予算書に記載のシルバー人材センターの作業内容や協賛金がどのようなものか。使用後のキャンドルについて、使い捨てにせず、持ち帰り等、エコに対する配慮についてお考えなのか。これらについて教えてください。

団体：継続して自治会と関わっていければ地域の繋がりが安定的に発展できる、というのがこれまでの考え方ですが、逆にしがらみを面倒と感じて、自治会、となるとNOと言われる方が、特に新住民の方には多いように感じています。目的がキャンドルナイトという単発型のイベントであることで、あまり追加で色々なことが起きなくて済むのではないかと安心してもらえるという意味では、地域の方に関わっていただきやすいのが単発イベントだと考えております。ただし、その日だけ集まって次の年まで何もしないわけではなく、8月から実行委員会を立ち上げて、打合せをしていく中で、地域の繋がりが発展するのではないかと考えております。

予算に関する質問ですが、大工仕事のノウハウを持っているメンバーがいないので、ツリーを作るときに、シルバー人材センターの方にお手伝いをお願いしたいと考えています。協賛金のよのなか大学は、代表がそういう名前の個人事業主をされており、団体の名前になっていますが、実際は代表の方のお金というふうな意味合いになっています。

最後のエコに関する配慮については、おっしゃる通り環境への配慮というのは大事だと思いますので、似たようなイベントをやっている団体からもノウハウをお聞きして環境負担の少ないような形で、これから勉強して対応していきたいと思います。

副会長：去年、同じように実行委員会方式でされたと思うのですが、イベントが終わった去年の12月から今年の5月まで、何か活動をされましたか。

団体：月1、2回いろんな場所を借りてカフェをして人を集めて楽しむ、ということをしてきたメンバーが今回の中核メンバーで、カフェのイベントはキャンドルナイトと関係なく定期的にやっていて、そこで集まった際などに、このキャンドルナイトをどうしようかという話を定期的にしている状態です。

副会長：今年度も補助金以外は実行委員会からのお金でなく、代表者からのお金で賄う予定ですか。

団体：代表者の団体からの収入で賄っているという状態です。

2 OTCURRY

～団体からの説明～

～質疑～

委員：人件費についてはボランティアの方ですか、あるいは団体の方ですか。

団体：学生など役員以外で協力していただくための資金として考えています。

委員：2020年度は1回1,000円や1,500円等、今回計上されている金額と少し離れた金額のようですが、この変更はどのような理由ですか。

団体：時間を使っている心苦しさがあるので交通費以外の部分もしっかり支払いできる形にしたいと思い、金額を変えて設定させていただいています。

委員：公益性という面でお尋ねしますが、事業への参加者は知り合い以外だとどちらで集めておられますか。

団体：正直少し弱さを感じております。来ていただいた方からの繋がりが6、7割かなと思っています。あとはSNS等を通じて全く知らない専門職の方に来ていただいたり、数は多くないですが、会場の前を通りがかった方が興味を持って参加していただくこともあります。

委員：会員は個人ですか、団体ですか。

団体：個人での参加です。

副会長：講師の報酬費が昨年より大きく上がっている理由を教えてください。

団体：回数等は変わりません。時間等は必要であれば延ばすという事も含めて、今後講師の方と相談しながら決めていきますが、30分であってもその準備に係る時間もありますし、作業療法士の著名な方にも来ていただいたりすることもあり、妥当な金額について、検討させていただいた結果、1万円としています。

副会長：飲食代以外の参加費を徴収することを検討されましたか。

団体：セミナーの参加費は徴収させていただいておりますが、会場費等に充てて、講師代にまで充てるのは難しいと考えています。

3 学校の未来を考える会 吹田支部

～団体からの説明～

～質疑～

委員：団体名に「吹田支部」と入っていて、神戸市に本部があると申請書類に記載されていますが、本部との関係を教えてください。

団体：別の団体で、会計も独立しています。

委員：4月3日からInstagramで5月14日のイベントの告知をされ、300席が満席になったことはすばらしいと思ったのですが、一方で予算書にチラシの印刷費が8万円とあり、もったいないかなと思うのですが。

団体：初めてのことで全く分からなかった中、まず校長会で配布の許可をいただいたので、是非A4カラー印刷で全校生徒に配りたいというのを優先しました。代表の自費になってもいいのでこの部分にはお金をかけようと。

副会長：上映後の対話会の形式を教えてください。

団体：4、5人の近くにいる方、大人も子供も校長先生も一般の親御さんもおちゃまぜで、近くにいる人とランダムにグループになっていただいて、映画の感想でもいいし、今の自分の学校教育に関する考えとか悩みとか、いろんなことをグループ内でシェアしていただいた上で、グループ毎に出た話を発表して、それで最後まとめる、という形です。

副会長：ビデオで議員の方の発言がありましたが、あれは対話とは別の形式でということですか。

団体：そうです。あれは対話とは別に上映前に、登壇いただいてお話をいただいたものです。

副会長：補助金の必要な理由について、2回目の参加費を軽減するためという御説明ですが、5月14日に開催したときの参加費とその額を低額にすることの理由を教えてください。

団体：参加費については、1回目は大人が1,000円、高校生以下は無料でした。予算書に上げている事業収入は1回目を想定したもので、2回目のものは補助金をいただいたら変わってくるので織り込んでいません。

副会長：予算書の収入の部の協賛金と寄附金は具体的にはこういった種類のものですか。

団体：協賛金6万円は私が負担します。寄附金は、1回目の時に4,601円ありました。

副会長：メイシアター以外の会場の検討をされなかったのでしょうか。

団体：メイシアターでなければならぬ理由はありませんが、値段的な部分と、駅が近くて、たくさんの方に来ていただきたいというところと、たまたま空いていたというところですね。

副会長：メイシアターだと来づらいという場所に住む吹田の方もたくさんおられるので、公益活動として、他の地域での開催は検討されませんでしたか。

団体：私はそういう考え方は頭にありませんでした。

副会長：普段の活動内容はどうされていますか。

団体：例えば居場所づくりや、新しい価値観、考え方、教育方法の学習会などをやりたい等、グループライン上で意見を出し合って、次はこれをやりたい、というような話をしています。

副会長：団体の会則の第2条に「夢みる小学校上映会を通して」と条件づけされているので、それ以外の活動をどうやって広げていくのが、よく見えなかったのでしょうか。

委員：収支予算書は、支出が2回分の上映を前提として計上されていると思うのですが、それに対して事業収入が、1回分しか計上されていないのではないかなと思うのですが、いかがですか。

団体：はい、うっかりしていました。同じ規模で開催すれば200人となります。

委員：そうであれば、補助金分がなくても事業が可能な計算になると思うのですが。

団体：ボランティアは自由意志のため、家庭の事情等、状況が変われば、参加できませんと言われることが当たり前にある世界なので、会の継続性を考え、時給を発生させて、労働のような考え方で責任をもってやっていただき、将来的にはNPO法人や一般社団法人等、法人化をして、事業として実施可能な形にしていくのがいいと考えており、事業としてはそういう意味でマイナスだと考えています。

会長：来年度以降も同じように映画の上映を通して活動される予定でしょうか。

団体：今回の上映会を通して、PTA協議会の方と繋がったり、教員の方でぜひ自分の学校でも上映会をやりたい、教育委員会からも、今回の映画と違いますが、大阪の小学校で面白い教育をされているドキュメンタリー映画があるのでそれをやりたい等、いろいろとお話いただいております。いろいろなところとコラボして、今回の映画だけではなくてしましますが、みんなで学校の未来を考えていく、そういう活動をしていきたいと思っています。

事務局：ここでお昼の休憩をとりたいと思います。

～休憩～

事務局：午後 1 時になりましたので再開いたします。

4 ハッピースマイル

～団体からの説明～

～質疑～

委員：今回、自立支援コースへの申請ですが、令和 4 年の資料を拝見すると、既に自立して一所懸命やっておられる感じを受けました。今回の補助金申請が、時給を上げたり、大きな部屋を借りたり、携帯電話を借りたり等、経費の補填が目的になっているような気がします。この補助金を受けることによって、これまでの活動でこういう不具合が良くなって、充実していけるという内容があればお教えいただけますか。

団体：現状、広告も限られた経費の中、自分たちで印刷して 20 枚程度を配るとか、しかできてなくて、個人の携帯電話番号も通話相手に表示するのが怖いというのもあって、専用携帯を借りられればより他の必要とされている方にもっとアプローチできると考えております。あとは、発育玩具の導入については、コロナ禍で大人がマスクをしていて口元が見えないことが子供たちが大人の言葉を習得するのにすごくデメリットで、言葉の発育が遅くなっているという声を保護者の方から聞いていて、発育玩具を取り入れて、こういうこともしています、とアプローチすれば、より宣伝にはなってそういった困ったお母さんたちも入ってきてくれるかなと期待しています。そうした形で補助金を使わせてもらって、1 歳児、2 歳児とか必要なお母さんたちが見てもらってきてもらえるかなという可能性に賭けているところです。

副会長：活動内容をそのまま理解すると、社会福祉活動で社会福祉の事業を支援するように聞こえるのですが、この補助金は市民公益活動を促進する補助金です。なぜこれが市民公益活動の補助金の対象となるのか、社会福祉、例えば事業支援補助金があったとしたら、そちらでいいのではないかと思います。そうではない理由は何ですか。

団体：保育の活動となると、社会福祉がメインのように思われると思うのですが、今回は公益性ということで、保育園などともあって入れる方だけ受け入れるものとは別で、コロナ禍ですごく孤立が見受けられ、公園に行ってもお子さんは楽しく遊んでいるのに、お母さんは 1 人で全然しゃべらず、私たちが子供たちと一緒に遊んだりする中で話し掛けても全く返事も挨拶もされない、という方が結構いらっしゃいます。そういう方はおそらく、ご本人でも自分がそうになっているのが分かっていなかったりと思うので、そういう方たちにもアプローチできる団体かなと思っていて、それは公益性かなということで応募させていただきました。

副会長：わからない部分もありますが、わかりました。

事業の実施回数ですが、例えば、半分の 20 回ぐらいにすると、事業収入に見合うぐらいで事業が実施可能です。なぜ 33 回やる意味があるのか、それが市民公益活動として必要なのか、或いは社会福祉だから連続性があって毎週すべきなのか教えてください。

団体：プレ教室は、幼稚園に入る子たちが来ますので、幼稚園になるべく合わせて、生活をしていただきたいという思いがあり、年 33 回にさせていただいております。

副会長：皆さん全員が元保育士で、今回計上されている人件費の3人は、皆さんのことですか。

団体：そうです。

副会長：プレ教室が満員で入れないからという動機で設立されておられますが、吹田市の幼稚園にもっとプレ教室があれば必要ないという認識でいいですか。

団体：プレ教室はコロナで止めていた幼稚園も復活させて、2歳児の受け入れはすごく幅が広がっています。ただ、今年初めて1歳児までしたいなと思ったのは、公園に来ている1歳児のお母さんたちがすごく孤立していて、子供たちがお母さんに笑いかけても笑っていないお母さんたちもすごくいて、他のお母さんとどうコミュニケーションを取ったらいいのかちょっとわからないという状況が公園の中ですごく見られました。2歳児は今幼稚園の枠がとても増えてきていますが、その下の1歳児のお母さんたちも週に1回ぐらい休みたいたいという方もいらっしゃるかなっていうので、今年からは1歳児の方を入れさせていただいております。

副会長：月会費の額の根拠もよく聞きたかったところですが、以上です。

5 社会の中で共に生きる会 あゆみ

～団体からの説明～

～質疑～

委員：令和4年度の事業進捗状況報告書の中にクリニックや訪問看護ステーションの名称が載っていますが、団体のホームページには一切記載されておられません。連携協働しているお医者さん等の名前を書くことで、団体を知らない方への安心感につながると思いますが、載せていない理由はありますか。

団体：診療所等の名前を出すと宣伝になったり、ホームページを見て、そこに押しかける人がいて迷惑をかけたりとかすることがあると思うので、出さないほうがいいと配慮してのことです。今、吹田市の市民公益活動補助金を交付されている、ということが私たちの信用になっていて、少しは安心していただけるのかなと思っています。

吹田市の図書館や他の部署において団体の説明をする時にも私たちは吹田市の公益活動の補助金を受けている、ということで、窓口で門前払いされず受け入れてもらえている理由ではないかと思っています。

副会長：事業を継続していくために、財政基盤を強めていこうという計画はお持ちですか。

団体：活動では公民館を利用したりするので、費用はあまりかかりません。会員の中には、経済的に苦しい方もおられ、団体としてはお金を徴収することは考えていません。

6 千里バロック合奏団

～団体からの説明～

～質疑～

委員：印刷費が高額に思えますが、どのようなチラシを作成されていますか。

団体：長くお願いしている印刷会社にデザインを含めてお願いしております。費用の在り方については今後の課題だと認識しました。

副会長：事業名に「豊かなコミュニティづくり」と入っていますが、団体の活動によってコミュニティに何がどう広がっていくのか、それが市民公益活動と言えるのか教えてください。

団体：音楽活動自体が公益活動だと考えており、定期演奏会において、楽器の音当てクイズや、趣味で書道をされている方の絵をロビーに展示する、という取り組みや、定期演奏会以外でも、身近な場所で演奏することで音楽に触れる機会を提供したいと考えています。吹田市の中で音楽に触れる機会をたくさん提供しようという意味で、今回のような活動を実施することで、公益活動になっていくと思います。

副会長：地域の人たちと繋がるために、どういう取り組みの仕組みがあるのかなと思います。また、市民公益活動は、できるだけ市民の皆さん自身で活動していくというのを提案していくものだと思うのですが、収支予算書の中に指揮者、ソリスト、トレーナーの費用が計上されています。市民公益のためにそうした方々を呼ばなければいけないものなのですか。また、音楽には様々なジャンルがあり、市民の皆さんのニーズもたくさんある中で、クラシック音楽に特化しているのは、果たして市民公益と言えるかなと私は思いますが、いかがでしょうか。

団体：指揮者は毎回毎回の練習の時にも来ていただく必要がある、我々が演奏するときになくはない存在なので、収支予算書の形で計上しています。

ソリストの方は、今回、吹田市出身の若手音楽家をプロモーションするという意味でも計上しており、金額については公益活動として、私たちはアマチュアですしなるべく安い価格でと交渉してきましたが、それでもまだ高すぎるというのであれば、そこは補助金の対象経費から除外していただくというような判断もあり得るのかなとは思いますが。

トレーナーの方は、私たちが大人から楽器を始めていますので、なかなか技術的に難しいところがあり、トレーナーの方に来ていただくことによって、皆様に届ける音楽の質を上げていきたいという意味で、計上しています。

7 特定非営利活動法人吹田市民環境会議

～団体からの説明～

～質疑～

副会長：今回、千里市民センター大ホールでの開催を予定されていますが、大人数でのワークショップをどのように計画されていますか。

団体：映画のみ、ワークショップにも参加というように、希望者の方にあらかじめ申込んでいただく形で人数を絞って実施しようと思っています

副会長：事業名が「わたしたちの暮らしとエネルギーを考えるワークショップ」ですが、エネルギーを考えるという時には、例えば、いわゆる石炭火力や原発利用についても情報提供しないと、ある意味バランスが悪いのかなと思います。市民公益と言った時に、両者のことをバランスよく、というようなお考えはありますか。

団体：映画の中に原発のこととか、自然エネルギーのことは入っていると思いますが、石炭火力とかその他のいろいろ細かいエネルギーのことが、情報提供できるかどうかは考えないといけないかなと思っています。

ただ、ワークショップは、情報提供もありますが、市民一人一人が持っている情報を交換するという場でもありますので、実はこんなものあるよというのを、市民の方からお話いただいたりとかグループワークの中で話していただいたりとか、そういうことができるのではないかと思います。

8 LFA食物アレルギーと共に生きる会

～団体からの説明～

～質疑～

副会長：会員数は市内 25 名、市外 125 名と記載されていますが、収支予算書に記載の参加者 20 名は吹田市民のみ、ということですか。

団体：基本的にはチラシなどは吹田市で配って、吹田市民にお知らせをしていく予定ですが、もし他市から参加したいという方がいた場合は断らずに受け入れたいと思っています。

副会長：会場で配布された防災ハンドブックの予算はどこから出たものですか。

団体：最初は他の助成金を使って作成し、人気があったのでクラウドファンディングをして 5 万部を作成しました。

副会長：そうであれば、この事業もクラウドファンディングで提案されたらすぐにお金が集まったりしないのですか。

団体：この冊子は西日本豪雨を支援したタイミングで作ったのですが、あの時は全国の皆さんが災害のことを考えて協力していただきました。毎回のイベントをクラウドファンディングという形で開催するのは難しいかなと思います。あとは住民の方に地域でこういう活動をしている、と知っていただく意味でも、クラウドファンディングだと規模が全国すぎてしまいます。地域に知ってもらえる活動に今回はしたいと思っています。

副会長：当日何らかの事情でお子さんがアレルギー症状を起こした場合の対策を教えてください。

団体：医者や看護師の方を呼んでいること、また、予算でたこ焼き器の購入を計画しているように、一切のコンタミネーションという混入がない状況で学びをするので症状が 99.9%起きない体制で、万が一起きたとしても対応できるような万全の態勢で実施します。

副会長：参加費について無料で今後も活動を続けられる予定ですか。

団体：アレルギーと防災講演については、アレルギーに全く興味のない人にも触れていただけるように今後も無料で実施したいと思っています。

会長：地域のボランティアとか大学生が参画するということですが、例えば大学生は、こちらの活動をしていて、今度は子供たちに伝えようということで、活動される方々ですか。そういう発展性について教えてください。

団体：まだ募集をしていますが、弊会に所属している大学生と、教職員の卵の子や管理栄養士の卵の子をスカウトするつもりでいます。

事務局：これもちまして、令和 5 年度市民公益活動促進補助金プレゼンテーションを終了します。

～交付審査～

会長：審議会を再開します。事務局から説明を受けます。

事務局：審査資料の説明

会長：それでは推薦順位順に、個々に審議をしていきたいと思います。

会長：まず団体①について、何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・カセットコンロを補助対象経費に含めるべきかどうか
- ・アレルギー対応非常食代については、受益者負担すべきものではないか

会長：それでは、アレルギー対応非常食購入費を除いた事業総額 182,924 円の 2 分の 1 の額である、91,462 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体②の審査に移ります。何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・原発について多様な意見があることを前提に活動いただきたい
- ・報償費の額について

会長：申請どおり 75,120 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体③について、何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・活動を是非応援したい

会長：申請どおり 6,300 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体④について、何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・自己資金を個人に頼り、一方で会費を徴収していないが、会費の徴収や寄附を募るべきではないか

- ・補助を受けてまでクリスマスツリー等を作成する必要があるのか
- ・公益活動として、環境に配慮し、ツリーやろうそくが使い捨てにならないような工夫が必要ではないか
- ・年に1度のみの活動を応援すべきかどうか

会長：申請どおり 42,000 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体⑤について、何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・補助金でこれまでやってこられた事業内容が充実するという提案であるが、受益者が特定の方に留まっており、市民公益活動としての広がりが感じられない
- ・市民公益活動というよりは、社会福祉事業の支援ではないか

会長：それでは、本事業については、社会福祉事業で特定の方に利益がもたらされる事業であること、また、従来から活動されており、自立できていないわけではないことから、交付しないものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：団体⑥について何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・人件費と講師の報償費について

会長：講師の旅費は報償費の単価に含めて補助対象経費とすることとし、旅費 6,000 円を除いた事業総額 164,000 円の 2 分の 1 の 82,000 円の交付ということにしてもよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：団体⑦について、何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・既に終了した 1 回目のイベント収入をみると、補助金なしでも事業が成り立つと思う

会長：それでは、補助金なしでも事業が成り立つため、交付しないものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：団体⑧について、何か御意見はありますか。

（主な意見）

- ・ 当補助金よりは、芸術文化振興補助のカテゴリーがふさわしいのではないかと
- ・ 補助金申請事業としては活動の市民公益活動の側面が弱いと感じた
- ・ 団体所在地が豊中で、豊中でも活動しておられ、主な活動場所が吹田といえるのか疑問を持った
- ・ 今まで自立して活動されており、団員の減少に伴う会費負担の軽減を意図しているように見え、公益性について疑問を感じる
- ・ 自らの技能を向上させる部分に補助金を充てることはふさわしくないのではないかと

会長：これまで自立して活動されてきた事業であり、本補助金の交付対象とするには公益性の観点で、双方向のコミュニケーションから企画内容をブラッシュアップする必要があり、これからの活動の広がり期待しつつ、今回は期待する水準に満たないということで補助金を交付しないものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：それでは令和５年度吹田市市民公益活動促進補助金交付審査を終了いたします。

副会長：最後に提案ですが、審議会のコメントはチャット GPT を活用して作成すればいいと思います。また審議会が長時間になるのであれば、食事や飲料水などの用意について知らせておくべきではなかったかと思います。一日がかりになるのであれば、委員、職員双方に対して、審議会事務局で準備することも吹田市役所にはご検討いただきたいと思います。

会長：これをもちまして、第８２回吹田市市民公益活動審議会を閉会します。